

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
運動療育特化型 児童デイサービス ぼぶらの樹平野		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0	学習や工作を行う部屋と運動をする部屋活動に合わせ2部屋を使い分けています	運動を行う部屋が少し利用人数によっては狭くなってしまうため人数を制限し時間交代で使用を行っています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	毎朝の朝礼でスタッフ配置、役割の確認をしております	通常は人員配置基準に問題ないですが、病欠など急な欠勤があった場合は系列の近隣事業所と連携を取って人員欠如を防いでいます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0	学習場所を固定するなどの工夫を行っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0	毎朝の清掃、児童帰所後も掃除機掛けを行っています	壁紙が一部剥がれていたり、落書きが目立つので張替えを行います
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0	簡易的なクールダウンエリアの作成。また別室対応を行っています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1	研修、会議、朝・終礼、面談等の実施で常に業務改善に努めています。	情報共有と改善に向けてのミーティングを行います。また、全員が目を通せるように記録を残していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	評価表だけでなく、普段の送迎時から保護者様と連携を取り、意向を把握し改善をしています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	毎日の終礼で話し合い重要性の高い件は別途ミーティングを行っています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	第三者機関を設けていない為行えておりません	必要に応じて連携を取っていきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	毎週の研修に加え、必要に応じて外部講師を招き行っております	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0	ホームページに公表しております	変更があった場合は適宜更新を行っていきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0	個人懇談で保護者様のニーズの優先順位の確認。関わっているスタッフで話し合いを行い作成しています	成長や環境により変化するニーズや課題に都度対応していきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	関わっているスタッフで話し合いを行い作成しています	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っていきます
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	関わっているスタッフで話し合いを行い作成完成したものも共有しております	一人一人の特性、能力、発達段階を考慮した支援目標を立て、スモールステップで支援を行います
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	所定のアセスメントシートを使用し、適応行動の状況を確認したり、日々のケース記録にて成長の変化を確認し、支援の継続や方向性の変更を検討している	成長の変化について、保護者としてしっかり情報共有し、適切な支援が行えるようにしていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	1	提供すべき支援のねらい及び支援内容を踏まえながら、一人一人のこどもに設定した目標に対し、必要な項目を適切に設定した上で、具体的な支援内容を設定している	スタッフ全員に共有落とし込みが出来ていなかったで落とし込みの徹底を行う
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0	個人懇談で保護者様のニーズの優先順位の確認。関わっているスタッフで話し合いを行い作成しています	成長や環境により変化するニーズや課題に都度対応していきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0	関わっているスタッフで話し合いを行い作成しています	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っていきます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	0	関わっているスタッフで話し合いを行い作成完成したものを共有しております	一人一人の特性、能力、発達段階を考慮した支援目標を立て、スモールステップで支援を行います
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	所定のアセスメントシートを使用し、適応行動の状況を確認したり、日々のケース記録にて成長の変化を確認し、支援の継続や方向性の変更を検討しています	成長の変化について、保護者としつかり情報共有し、適切な支援が行えるようにしていきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	提供すべき支援のなつり及び支援内容を踏まえながら、一人一人のこどもに設定した目標に対し、必要な項目を適切に設定した上で、具体的な支援内容を設定しています	スタッフ全員に共有落とし込みが出来ていなかったため落とし込みの徹底を行います
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0	ケース記録、ヒヤリハット、業務日報に改善点等の記載を行い、支援の検証・改善につなげている。	支援の成果や課題、問題点等について常に話し合いながら適切な支援をおこないます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	少なくとも半年に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1	デイでの様子を支援員で話し合いまとめ児童発達管理責任者が出席をしております	参加後、全スタッフへの共有が出来ていませんでした。落とし込みを徹底していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	2	協力医療機関を提携しております	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	2	必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めます	左記の内容で継続して行なっています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1	必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めます	左記の内容で継続して行なっています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	2	現在は児童発達支援センターとの連携や助言等を受ける機会を設けておりません	現在は機会を設けていないため、今後は連携を図り、必要に応じて助言等を受ける体制を整えていきます
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	2	感染症等の懸念により行えていません	現在は機会を設けていないため、地域の他のこどもと幅広く交流する機会を作っていくよう検討します
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	送迎時にデイや園での様子を共有しています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	保護者からの相談に応じ、家庭における困りごとに対する対応方法や課題に対する支援方法を伝えています	個別に相談に応じたり、定期的に個人懇談を行っているが、ペアレント・トレーニングや家族向け研修などの開催も今後は検討していきます
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	時間を取り、説明を行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	個人懇談を行い聞き取りを行っています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	0	時間を取り、説明を行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	必要に応じて面談時間を取りお話をしています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	感染症等の懸念により行えていません	行事の中では保護者同士で十分な交流は難しいのが現状であるため、今後は保護者同士の交流が深められる取り組みを検討していきます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	全職員で対処法を検討、対応や環境等体制の整備を行い、こどもや保護者に変更や改善について報告するなど迅速かつ適切に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0	毎月行事予定表の配布及び行事によっては別途詳細の案内を配布している。また、HPやSNSで活動概要やイベントの告知等を行っている	SNSは見る人、見ない人がいるため、配布や連絡帳での情報発信を欠かさず行っていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報書類の厳重な保管（鍵付きロッカーや金庫）及び社外（退職者含む）への持ち出しや情報漏えいを固く禁じています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	特性に応じて連絡手段を変えております	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2	事業所の行事はSNSやチラシ等の宣伝にて広く周知、招待できるようにしています	地域住民へのチラシの配布等を行い、行事への招待等、開かれた事業運営を行っていきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	問題なく行えています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0	BCPを策定し、年二回以上、職員とこどもで災害時に備えて避難訓練の実施。また、消防署員による訓練も受けています	左記の内容で継続しつつ、策定したマニュアルを定期的に見返し、対応手順等を念頭に置いておくことで災害時に迅速的確な行動ができるようにします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0	契約時には必ず確認し、その後に発症または服薬の変更等があれば都度伝達してもらい、対応方法等を確認しています	左記の内容で継続し、全職員への周知を徹底していきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1	医師の指示をいただいた保護者様より対応をお聞きしています	今後は医師とも連携を取りより安全性を高めていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	3か月に1回避難訓練を行っていること、送迎時の置き去り防止対策、施錠の徹底、災害時連絡票の管理等伝えています	左記の内容を継続した上で、更に保護者の不安軽減のために必要な情報は周知していきます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0	災害発生時、事故発生時等の対応や室内及び送迎における事故防止についての研修を行い、安全管理に努めながら支援を行っています。	振り返りまで徹底することを継続し、意識が希薄にならないよう努めています
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	ヒヤリハット報告書をもとに全職員で共有、改善案を周知及び会議でも話し合っている	同様のヒヤリハットが起こっていることに対しては、対応策の見直しをしっかり行っています
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	社内及び社外研修にて全職員が学ぶ機会を設けています	定期的に行うことで、全職員が研修参加できるようにし、また、繰り返し行うことで虐待への意識が希薄にならないよう努めています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	車椅子のこどもに対するベルトの固定や生命の危険回避のためなど保護者へ説明、同意書への署名及び支援計画に記載しています	